



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局

Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>

Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 410 号

(創刊 1988.12.14)

2023.11.05.

釜利谷開口部見学会

庄戸三丁目道路対策部では、毎年、釜利谷開口部の見学会を行っている。今年も、10月1日(日)道路対策部員5名と10名の町会員が参加した。朝10時にパンダ公園に集合し尾根道まで直登(ここが一番厳しいのだが)、尾根道に出るとすぐに釜利谷の巨大な工事現場をやぶ越しに垣間見る事ができ、庄戸からの近さが実感できる。

尾根道を左に進み途中で分岐を過ぎると清戸の丘に至る。ここは休憩するに適当な丘だが、当初の工事計画では、清戸の丘は全て削り取られ、今の開口部から東は全てコンクリートジャングルになるはずであった。

我々道路対策部や連協の活動により、美しい里山の一つが守られた事を実感する。清戸の丘からは開口部脇の階段を下り、左折して金沢自然動物園の裏口近くまで行き、釜利谷の大工事現場を塙越しに眺めた。通路の上にはベルトコンベアが通り、平日なら桂台トンネルを掘削した土砂を運んでいるが、休日は静かであった。

開口部は、約45m四方の正方形で深さ約20mで、以前はその姿が階段上からよく見えたが、今は開口部内に建屋(おそらくコンクリートプラント)ができており、正方形の柵形や出入りのトンネルを見る事が出来なかった。参加者は、豊かな自然と巨大なコンクリート構造物を前に、いつもながらこの巨大な公共工事に疑問を感じながらのハイキングであった。

この開口部から、横環南線全体の40%の排気ガスが放出される。森の中ならばどんなに汚しても良いのか?しかもそこは庄戸住宅地から200mしか離れていない。

(庄戸三丁目 田中)

桂台西の最近状況

公田換気所の工事が続いています。山肌を削るときに岩石を砕くゴンゴンという騒音には困っております。近くにある介護小規模多機能ホーム「こころ」の入所者は、換気所の工事が始まる前は騒音も無く、緑の豊富な静かな環境に日増しに元気になっていくとのことでしたが、激しい騒音が始まってからは不快な日々が続いており、道路完成後の車の騒音を心配しております。

効果のある防音壁のようなものを設けてもらいたいけどどのような設計になっているのかと心配しております。

自治会では工事当局との説明会を度々もっており、その中で道路の詳細設計にあたっては地元住民の意見を聞いて決めていくとのことです。近々その説明会がもたれる予定です。(桂台西 連協環境部 鈴木)

財務省も気が付いた!

10月19日の財務省が諮問する審議会で、公共事業の事業評価について少子化に対応していない点を国交省に指摘しました。

連協から今年1月の事業評価でB/Cが0.8であるのに事業継続と決定した事を「これはおかしい」と各所に喧伝しているところであり、行政もやっと気が付いてくれたとの感があります。

先日、衆議院会館で「公共事業を糾す」大集会でもこれを取り上げ衆議院、参議院の国土交通委員会でも我々の仲間が横環南の0.8を問題提起してくれたところであり、今後の動向を注視していきたいと思えます。

(会長 比留間)

中部横断自動車道 都市計画原案説明会開催



山梨県は7月19日に受けとった国交省の詳細ルート案について、対象自治体や住民への事前の意見聴取や現地調査などを行わず、国交省案をそのまま都市計画原案として10月下旬に計4回説明会を開催しました。

私は沿線住民の会から開催案内を貰ったので、29日に北杜市高根体育館で開かれた説明会へ参加しました。400名前後の住民が詰めかけ、配布されたルート図を見て自宅が道路に当たることを初めて知り、ほんの少しルートをずらすだけで住宅に当たらず通することができるのに、何故このルートなのか？と疑問の声が上がりました。

しかし、県職員が一番望ましいルートだと国交省の案をそのまま押し付ける回答に終始しました。

トンネル区間は極僅かで殆どが地表式なので影響が大きいと感じました。

(副会長 大橋 宏)

国際環境 NGO FoE Japan 主催 オンラインセミナー シリーズ第3弾

10月25日(水) 19:00~21:30

未来の交通インフラが環境破壊！？
～住民生活を脅かす広島高速5号線・リニア・
横浜環状道路のシールドトンネル工事～

フリージャーナリスト樫田秀樹氏から連協会長へ参加の要請があり、「桂台トンネルの超近接併設工事の危険性」について私が30分間ZOOMで説明しました。

他には、フリージャーナリスト樫田秀樹氏による「シールドトンネル工事とは」、

越智秀二氏（二葉山トンネルを考える市民の会）による広島二葉山トンネル工事遅延の背景と問題点、和泉貴士弁護士による浅深度シールドマシン工事がもたらす生活環境破壊（神奈川県相模原市）の発表がありました。

何れも事業者の情報隠し・隠蔽に対する問題点を大きく取り上げています。

発表の内容はYouTubeで見ることができますので興味のある方は下記URLをご覧ください。

<https://foejapan.org/issue/20231007/14566/>

(副会長 大橋 宏)

東京外環 青梅インター訴訟

11月1日に東京地裁にて画期的な裁判の傍聴をしました。これは憲法に定める財産権無視や人権侵害また都市計画性の無効を訴える裁判です。

9年に渉る裁判であり今回の裁判長の交代で「違法性の有無についての根拠を具体的にプレゼンテーションしてもらいたい」との提案から1時間半の大法廷になったのです。

原告側と国側がパワーポイントを使用して法廷の壁に主張を映写したのです。未だ経験したこともないことであり国側の主張（全て適法である）を聞いたのも初めてでした。

(会長 比留間)

【対外活動報告】

- 10/01 釜利谷工事区見学会（庄戸三）
- 10/15 関島弁護士 tel 相談（会長）
- 10/16 西村弁護士打合せ
（川崎法律事務所 会長）
- 10/20 低周波調査会（zoom 会長参加）
- 10/25 オンラインセミナー
（zoom 大橋・和田・高村・藤原参加）
- 10/29 公共事業改革市民会議世話人会
（zoom 会長参加）
- 10/29 中部横断道都市計画原案説明会
（大橋副会長参加）
- 11/01 東京外環青梅インター訴訟傍聴
（東京地裁 会長）
- 11/01 低周波調査会（zoom 会長参加）